

## はじめに

大阪府の現庁舎(本館)は、大正15年に現在地に建設され、これまで永く府民の皆さんに親しまれ、正面玄関をはじめ、堂々とした建築美が大阪城とともに、上町台地の偉容のひとつに数えられてまいりました。

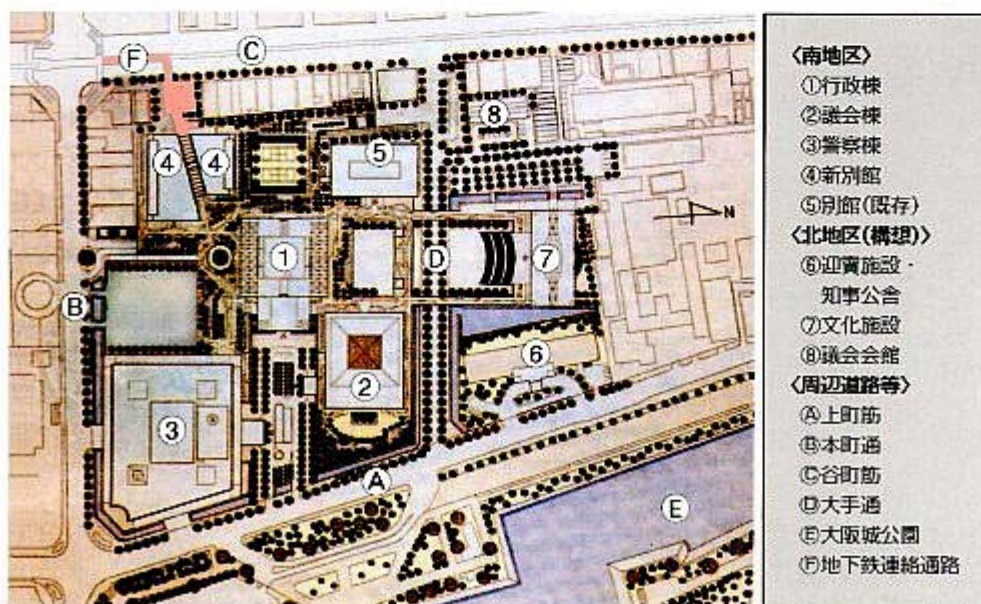
ところが約70年の風雪によって庁舎の老朽が進み、事務量の増大のために庁舎が分散化して、事務効率の低下とともに、府民サービスに支障を来たしかねない状況となっています。

さらに国際化、情報化等に適切に対応し21世紀における新たな府政を展開していくためにも、府民サービスの向上と新しい街づくりを基本とした府庁舎と、その周辺地域の整備が緊急の課題となってきました。

このため、大阪府は平成元年10月に「大阪府庁舎・周辺整備基本計画」を策定し、事業を着々と進めております。平成7年3月に、本事業の記念すべき第一歩である新別館南館が完成し、引続いて、平成9年6月の完成に向けて新別館北館の工事を進めております。また、平成7年3月には行政棟・議会棟の基本設計が完了いたしました。

今後、事業の実施に当たっては、広く府民の方々をはじめ府議会に設置されている庁舎建設推進委員会や関係機関などのご意見をおうかがいし、また社会経済情勢の変化や技術の進展などの動向に的確に対応しながら、各施設の建設を行います。

この「概要」は、「基本計画」の内容を行政棟・議会棟の基本設計完了時点において修正したものです。  
今後の設計、社会情勢の変化等に伴い、必要な見直し変更を行います。



各施設の配置図